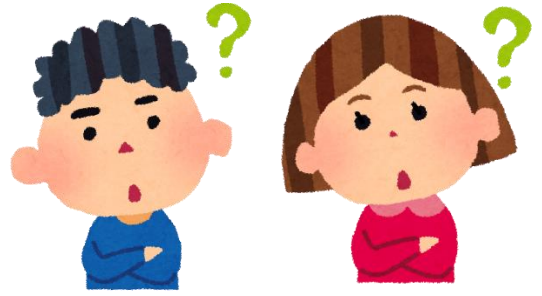


社会科豆知識

現在、日本人の平均寿命は、
およそ 83 歳とされています。
それでは、
社会科の教科書に載っている
それぞれの時代の平均寿命はどうだったのでしょうか。



縄文時代	15 歳	A vertical illustration on the right side of the table. At the top is a woman in a red and orange kimono with green accents, holding a scroll. Below her is a monk in a brown robe with yellow sash, sitting cross-legged.
弥生時代	18 歳から 28 歳	
古墳時代	25 歳未満	
飛鳥・奈良時代	20 歳未満	
平安時代	30 歳から 40 歳	
鎌倉時代	24 歳	
室町時代	16 歳	
安土桃山時代	34、35 歳	
江戸時代	31.7 歳	
明治時代	44 歳(明治 24~31 年の平均)	
大正時代	43 歳(大正 10~14 年の平均)	
昭和時代	※31 歳	
平成時代	83 歳	

※昭和時代は、戦時中、31 歳まで下がったといわれています。戦後、平均寿命は延び、昭和 22 年に 50 代、昭和 46 年に 70 代を超えるようになりました。

『寿命図鑑 生き物から宇宙まで万物の寿命をみつめた図鑑』
やまぐちかおり (イラスト) いろは出版 (編著) より引用

平均寿命からそれぞれの時代が
どのような生活だったかがえることができます。

「弥生時代は縄文時代と比べて
平均寿命が上がったのはどうしてだろう。」



というように問いをもって調べてみるといいですね。